

岐阜県の プラスチック

上半期のプラ材料生産は停滞傾向 1977 10月号



業界の意欲しめす 組合が発明くふう展に出品

「'77岐阜県発明くふう展」がさる9月29日から10月2日までの4日間、岐阜産業会館で開かれた。この発明くふう展には当工業組合も協賛するとともに、第1部の特別小間に出

品（写真＝説明者は事務局の林さん）した。

会場は一般の発明考案品115点、児童生徒教職員の創作品810点が展示されたほか、数多くの特許、実用新案の新製品が出品されていた。また、隣接の大会場では中部金属工業展が併催され、ともに盛況であった。なお、当工組のほかは岐阜プラスチック工業、田中化学、天竜技研の関係各社が出品した。

岐阜県プラスチック工業組合会報

長期の停滞傾向見せる

1～6月のプラ材料生産実績

樹脂別のバラつきも目立つ

日本プラスチック工業連盟は昭和52年上期(1～6月)のプラスチック材料生産実績、それにプラ製品向けの樹脂消費量をまとめた。それによると、今年上期のプラスチック材料の総生産高は292万7千トンで、前年同期に比べてわずか2.1%ながら上昇した。

しかし、前年下期(7～12月)と比較すると、0.3%であるが減少している。したがって統計上ではプラ業界の景気回復はほとんどなかったことになる。

ふっ素樹脂とポリアミド樹脂が大幅増加

1～6月のプラスチック材料生産で大幅に増加したのは、熱可塑性樹脂ではふっ素樹脂の25.8%増、ポリアミドの23.5%増、ポリスチレンAS12.3%増、石油樹脂11.5%増、ポリビニルアルコール11.5%増などがめだっている。

しかし、汎用樹脂のポリエチレンの高密度が9.1%増加したものの低密度がわずか0.7%の増加にとどまり、ポリエチレン合計では3.3%の微増であった。ポリスチレンもASの大幅増加

昭和52年上期プラスチック材料生産実績

(通産省調査統計部月報より集計)

(単位：トン)

種類	昭和52年 (1～6月) A	昭和51年 (1～6月) B	昭和51年 (7～12月) C	A/B (%)	A/C (%)
フェノール樹脂	121,760	119,967	133,847	101.5	91.0
ユリア樹脂	281,699	270,611	300,275	104.1	93.8
メラミン樹脂	50,347	44,964	49,404	112.0	101.9
不飽和ポリエステル樹脂	77,402	72,256	77,329	107.1	100.1
アルキド樹脂	52,237	53,406	62,162	97.8	84.0
エポキシ樹脂	19,067	20,827	20,243	91.5	94.2
けい素樹脂	12,401	12,276	11,056	101.0	112.2
ウレタンフォーム	67,535	69,050	72,072	97.8	93.7
熱硬化性樹脂小計	682,448	663,357	726,388	102.9	94.0
ポリエチレン (計)	716,359	693,739	698,722	103.3	102.5
低密度	484,108	480,842	475,925	100.7	101.7
高密度	232,251	212,897	222,797	109.1	104.2
ポリスチレン (計)	441,858	424,386	450,720	104.1	98.0
GP・HI	237,016	220,755	244,495	107.4	96.9
F S	58,047	54,478	60,521	106.6	95.9
A S	37,001	32,951	30,066	112.3	123.1
A B S	109,794	116,202	115,638	94.5	95.0
ポリプロピレン	330,169	361,230	307,740	91.4	107.3
ポリブテン	11,727	11,618	10,126	100.9	115.8
石油樹脂	34,311	30,783	33,758	111.5	101.6
メタクリル樹脂	45,134	43,700	43,404	103.3	104.0
塩化ビニル樹脂	528,341	512,622	531,341	103.1	99.4
ポリビニルアルコール	54,256	48,672	54,892	111.5	98.8
塩化ビニリデン樹脂	15,104	14,780	14,401	102.2	104.9
ポリアミド	26,420	21,385	24,950	123.5	105.9
ふっ素樹脂	1,318	1,048	1,370	125.8	96.2
その他樹脂	28,627	27,847	27,440	102.8	104.3
ポリカーボネート	10,789	11,565	10,562	102.1	102.1
熱可塑性樹脂小計	2,244,413	2,203,375	2,209,426	101.9	101.6
合計	2,926,861	2,866,732	2,935,814	102.1	99.7

のはかGP・HIが7.4%増、FSが6.6%増とまずまずだったが、ABSが5.5%減とふるわなかったことから合計では若干の増加にとどまった。

ポリプロピレンは8.6%減と大幅にダウン。塩ビは3.1%増で、安全性の問題で社会的な風

当りが強かったわりにはまずまずの生産実績であった。

熱硬化性樹脂ではエポキシ樹脂が8.5%減とふるわず、逆にメラミン樹脂は12.0%増と好調であった。このほかユリア樹脂は4.1%増、フェノール樹脂は1.5%の増加で、まあまあの線を進んだ。

プラ製品の生産も上昇ならず

一方、プラスチック製品の方は、生産量が1

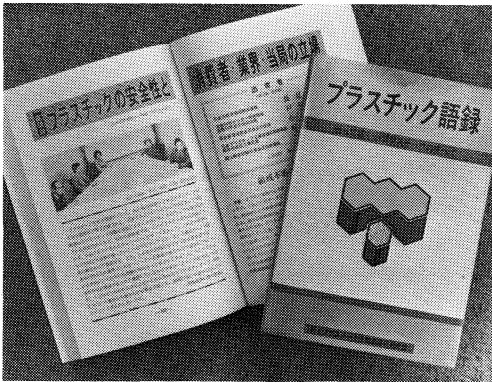
53万6千トンで、前年同期比で2.8%増、前年下期比では0.2%増と、まったく上昇の気配はみられなかった。

大幅に増えたのはフィルムの10.6%増、発泡製品の11.0%増、建材の7.5%増など。反対に大幅に減少したのは板の19.5%減、容器の7.4%減、シートの5.0%減など。大幅増のフィルムも51年下期に比べると1.4%の減少で、また、板、シートは51年上期下期をも下回るという不振が続けている。

『プラ語録』を発刊 知識と問題点解明が中心

日本プラスチック工業連盟の広報部会は、プラスチックに関する正しい知識と、現在業界が直面している問題点の解明を中心にまとめた『プラスチック語録』（写真）を刊行した。

内容は第1部～第5部にわかれ、第1部は「



私たちとプラスチック」で、プラスチックの性質、安全性、ごみの問題。第2部は「プラスチックQ and A」で、とくに安全性の問題について深く掘り下げている。第3部は「樹脂編」で、プラスチック25種類の開発歴史、製造法、性質について解説している。

第4部は「もしプラスチックがなかったら」で、プラスチックが使われている現状についてとらえている。最後の第5部は「座談会」でプラスチックの安全性と消費者・業者・当局の立場、安全性と有効利用、安全性問題を考えるの3テーマについてそれぞれ行なった座談会の発言がそのまま集録されている。

プラ研の会員募集開始

岐阜県工業技術センターと当工業組合は「岐阜県プラスチック技術研究会」の設立を決めたが、このほど第1回役員会が開かれ、会員の募集、発会式の開催など当面の事業について協議した。

この結果、会員募集は10月中に実施し、発会式は第1回研究会として11月中旬に開く。発会式には高分子化学の権威者である神原周博士を招き「プラスチック産業の現状と将来」について特別講演してもらおう計画。

第2回研究会は来年2月に予定している。内容は加工技術、製品開発、消費対策、安全性、デザイン、公害、材料など、業界の課題を選び全員で討議し、こんごの対策や方向付けを行なって行く。

工業技術センターで開催 25日に品質評価講習会

「プラスチック成形品の品質評価方法に関する研究」についての成果普及講習会が、10月25日午後1時半から岐阜県工業技術センター講堂で開かれる。この講習会は中小企業庁の技術開発研究費補助金をもとに工業技術院計量研究所の指導をうけ、群馬工業試験場と岐阜県工業技術センターが共同研究を行なった成果を各業界に普及、技術の向上をはかろうとするもの。

講師は矢野宏氏（計量研究所計測機構課長）松田次郎氏（同研究官）樋口三雅氏（群馬工試技師）関谷裕彦氏（岐阜県工業技術センター高分子科長）の4人。受講料は無料で、テキストは当日配布される。参加希望者は10月15日までに岐阜県工業技術センター技術管理室か当工業組合へ。

プラ系複合材進出盛ん

自動車産業界では、公害防止機器の塔載などから車体の軽量化が大きな課題になっている。自動車産業のメッカといわれるデトロイトでも車体の軽量化の一環として、プラスチック系複合材の適用が盛んに進められている。とくに注目される方向としては、カーボン繊維強化材な

どの高価な材料を使用、積極的にこの問題に対処しようとしていることである。

カーボン繊維など他の有機繊維の使用については、すでに1980～1985年までの予測が行なわれており、使用部材なども自動車本体を支えるフレームなどが考えられている。その他の使用部材をあげるとエンジン、プッシュロッド、ブレーキライナー、ドライブシャフト、リーフスプリングなどで、部材の量産についても検討が行なわれている。

カーボン繊維強化材が伸びる

実際の使用にはアルミ／カーボンなどのハイブリッド構造なども考えられており、全般的にはカーボン繊維強化材を主体とするハイブリッド構造に大きな伸びが予想されている。また、軽量化には、ドライブシャフト、スプリングフレームなどが大きな効果が期待される分野である。スプリングフレームなどでは77～80%もの軽量化が予想されるという。

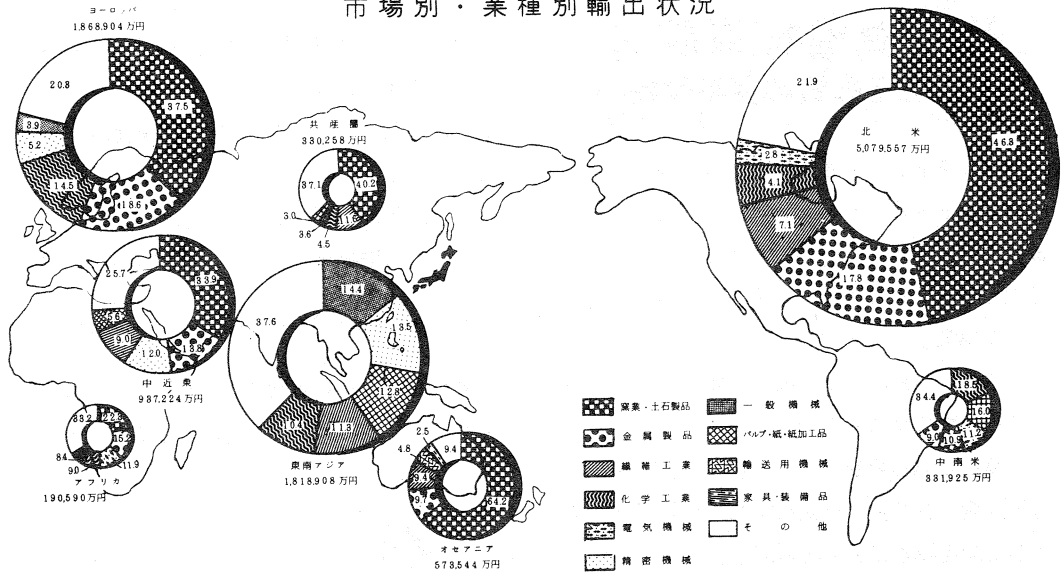
他の材料としてはカーボン繊維に代わってアルミやチタンなどが検討されており、いずれも大きな期待が寄せられている。



秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7
名古屋営業所 名古屋市米屋町2(埼玉ビル9F)
TEL <052> 582-5071

市場別・業種別輸出状況



総額は1,137億円

51年の岐阜県の輸出は大幅増加

昭和51年の岐阜県の輸出状況は、世界景気の回復を反映して輸出総額は1,136億9,453万円にのぼり、前年に比べ38.6%の大幅増加となった。

業種別には「窯業・土石製品」が418億7,929万円で、34.3%増。「金属製品」が169億5,932万円で47.5%増。「繊維製品」は85億7,387万円で35.5%増。これら3

業種の輸出ウェイトは59.2%となっている。その他の業種の中で増加率が伸びているものは「木材・木製品」「輸送用機械器具」「パルプ・紙・紙加工品」など。

プラ製品の輸出量はつかめず

プラスチック製品は、単体で輸出されているのはフィルム関係が大半。あとは金属製品や輸送用機械器具、電気機械器具の部品として輸出されているので、残念ながらプラスチック部門だけの実態はつかめない。

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11
 名古屋営業所 名古屋市中村区笹島町1-221-2(豊田ビル3F)
 化工機課 TEL <052> 561-8341

社宅や福祉施設に 雇用促進融資の募集開始

雇用促進事業団の雇用促進融資の募集が、来年1月末まで行なわれている。この融資は、労働者の雇用促進と企業の労働力確保を有利にするため、公共職業安定所の紹介で労働者を雇い入れる事業主（事業主の団体を含む）に対し、社宅や福祉施設設置や整備に必要な資金を長期・低利に融資する制度である。

＜借りられる資金＞ 労働者住宅設置資金、福祉施設設置資金、職業訓練施設設置資金、通年雇用設備設置資金、身体障害者作業施設等設置資金、心身障害多数雇用事業所施設等設置資金など。

貸付け決定に2カ月間要する

＜融資の申し込み＞ 2制度以上の融資を申し込む場合は、別々に書類を作成し、必要部数を揃えて申し込む。例えば3階の建物を計画する場合、1階を職業訓練施設に、2階を福祉施設に、3階を労働者住宅にするとした場合でも別々に申し込む。

＜借入申し込み先＞ 雇用促進事業団が融資業務を委託している金融機関の窓口で、建設予定地の都道府県内にある取扱金融機関に限られ

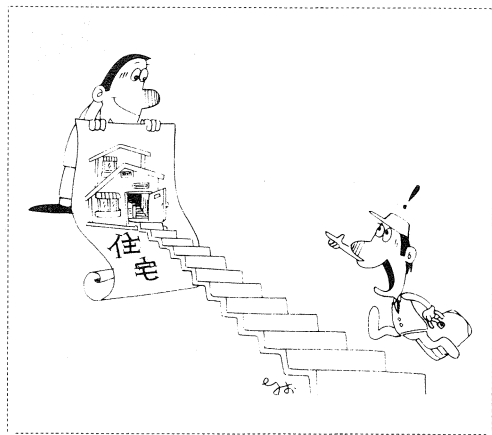
る。

＜添付する主な書類＞ 職安の証明書、事業の概要、事業の略歴、最近3期の決算報告書、建設計画の設計図、納税証明書、建設敷地の登記簿謄本など。

貸付け決定時期は、申し込んだ月の末日から約2カ月後に取扱金融機関を通じて連絡される。

中小企業の金利は年6.75%

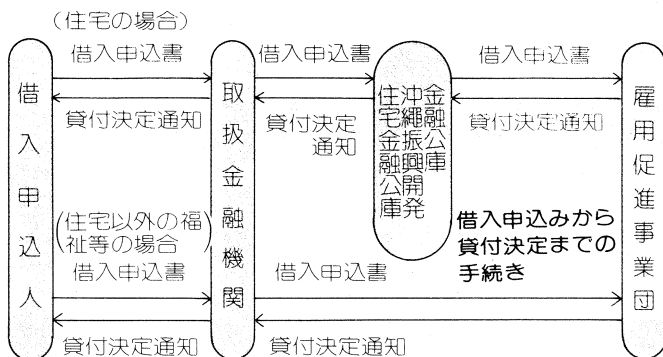
＜貸りられる金額と利子＞ 貸付限度額は資金制度によってわかれ、例えば、労働者住宅は



実際に必要とする額の範囲内。福祉施設の場合は一定の算出方式がある。金利はさる6月1日から引き下げられ、中小企業は年利6.75%、大企業は年利7.25%となった。

＜工事の着工は…＞ 貸付け決定前に工事を

始めることはできない。また、貸付資金は工事の出来高（30%、60%、80%、100%）に応じて分割して受け取る方法と、建物が完成した後、一括して受け取る方法の2通りがあり、借り受ける方の希望によって選択できる。



射出機サービスセンター新設

日本製鋼所は同社府中工場に「東京射出機センター」を新設し、射出成形の営業・サービス体制を強化することにした。同社は射出成形機を生産開始して12年間に1万台の販売実績をもち、こんども成形機需要はますます増加するとみられる。このため納入機のアフターサービス部門の強化がとくに必要となり、営業とサービスが共同してセンターの運営にあたる。

新設したセンターは2,085平米の用地に建てられ、一部事務所を含む2階建てビルで、1階の展示場には7台の各種射出成形機を設置して実演するほか、オペレーターの実習場としても利用される。

大型ブロー成形品開発に本腰

昭和油化では将来の有望商品として、大型ブロー成形品の市場開発に取り組んでいる。この大型ブロー成形は、超高分子量ポリエチレンを金型に押し込んだ後、空気を吹き込み成形するもので、貝類、養殖イカダ用の浮き、田植え機の足まわりなどに本格採用されたのに続き、新しくは自動車用ガソリタンクにも一部使われはじめた。

さらに金属やFRPが主に使われているタンクや部品の分野にも進出をねらっている。

スチレン系のFRTPを開発

三菱モンサント化成は新製法による高性能のガラス繊維強化スチレン系材料「コリメート」を開発した。この材料を用いて成形品を製造すると、成形品の中のガラス繊維が長いまま保たれ、耐衝撃性などの機械的強度や耐熱性が大幅に向上するという。

また、軽量化や工程の簡略化も可能で、同社

は自動車部品、電機、精密機器分野への需要が期待できるとしている。

塩ビ再値上げ11月以降に延期

塩ビ業界は、9～10月に塩ビ樹脂の値上げを予定していたが、そのご各社とも弾力的な姿勢で臨むことに態度を変えている。これはユーザーの加工業界が不況の影響で、夏の一次値上げ分を製品価格に転嫁できないからで、二次値上げが実現するのは11月次降になる見通し。

大幅な需給ギャップに苦しむ塩ビ樹脂メーカーは、この5月に不況カルテルを結成、7月に1キログラム当たり10円の値上げを実現した。しかし、まだ赤字のため9～10月にかけて再度10～15円の値上げを明らかにしていた。

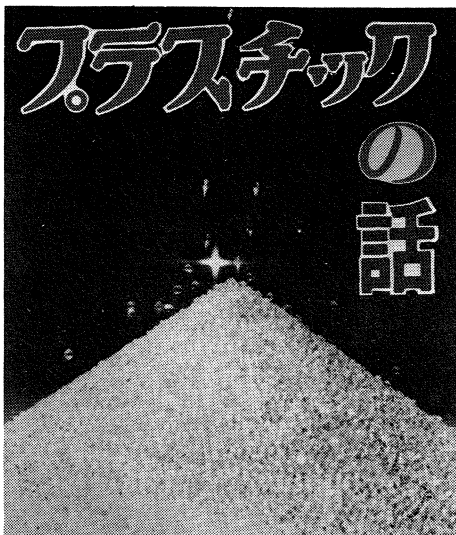
始球式で空振りを忘れた選手 雑学事典

草野球からプロ野球まで、このところ野球一色。その野球の始球式を女性がやる例は少ない。昭和25年、後楽園での第1回世界ノンプロ選手権でマッカーサー夫がやった。

その後、鳩山薫子女史もやったが、いずれもアメリカ式にスタンドからの始球式。マウンドから投げたのは明治43年、羽田京浜グラウンドの開場試合で京浜重役・波多野承五郎の令嬢がやったが、本人の名も年齢もわからない。

変わりダネは昭和89年、プロ野球オールスター第8戦で、全セの山内選手は中馬大阪市長の球にバットを振らずに見送った。捕手と「打ってみるか」と話しているうち「球が通過した」そう、始球式で空振りを忘れたバッターは、空前にして絶後。





漬物はやはりタルや専用器で

〈ポリエチレン製バケツを漬物容器に使うとどうなるか〉「日本沈没」らしい「大地震」「タワーリング・インフェルノ」といった災害をテーマにしたパニック映画がヒットしています。実際には有珠山の例もあり、地震国の日本では「明日はわが身」と不安を抱く人は多い。その日のために、非常用の水や食料をポリエチレンバケツに貯える家庭も少なくありません。

ポリエチレンバケツには消火用、ぞうきんバケツ、一般用がありますが、食品用に使用してはいけないという表示はありません。このため水や米、野菜などを入れる時に使用されているのが実情です。しかし、漬物はやはりタルや食品専用容器の使用をおすすめします。

プラ製品の汚れは中性洗剤で

〈ベンジン・シンナーは禁物です〉「フォーテンの寅さん」にはお守りとダボシャツ。本物のフォーテン族や非行少年少女にはシンナーがつきものようです。

このシンナーやベンジンは家庭で汚れ落とし

に利用されますが、テレビやステレオのキャビネット、照明器具、建材などに使われているプラスチックには、シンナーやベンジンに溶けるものがあります。ポリエチレン、ポリプロピレン、熱硬化性樹脂は比較的強いですが、他のプラスチック製品の汚れ落としには中性洗剤など専用の洗剤を利用して下さい。

プラ容器は廃物利用しないで

〈使用目的以外の使用はやめましょう〉古代ギリシャやローマでは、傷薬や眼病の治療のためにバターを使用しました。スペインでは3000年前までバターは薬局で売られて、食べるものではなかったそうです。いまから考えるとウソのような話ですが、古代人から見れば傷薬をおいしそうに食べる私たちは、発狂者に見えたかも知れません。



しかし、今日ではそれぞれ使用目的があるのが普通です。洗剤のバケツは洗剤を入れるもので、食品を保存するためのものではありません。また、スーパーなどで卵をパックしてある容器はプリンなどを作るためのものではありません。廃物利用などといって、物を有効に使用するのもよいが、よく目的を確かめてから使って下さい。

合羽屋からビニール屋に



斉田 隆一

「合羽屋」…かっぱや、のことですが、いまの若い人には馴染めぬ文字です。戦前の人、とくに岐阜市に居住された方なら「ああ、そうか」と思われる油紙製造業者のことで、春夏秋冬を問わず長良川畔の川原一面に、色とりどりの油紙を乾燥する風景を記憶しておられると思います。現在も、時折長良橋下流の川原で見うける風景です。

油紙や合羽は、加納の和傘とともに大正初期から昭和23、4年ごろまで「岐阜の特産」として多量に生産、販売されたもので、製造業者も10指を越え、かなり盛況でした。

この岐阜市で油紙製造業がなぜ発達したかをたどってみると、第一には油紙の乾燥場が、長良川畔にえられたからです。乾燥場といっても天然の干し場で、砂もなく、こぶし大の乾燥上必要な置き石がふんだんにあり、一日中、太陽の熱エネルギーを受ける広い場所のことです。発達した第2の理由は、美濃紙の原産地に近く、岐阜特産の和傘製造工程に必要な柿渋液や接着用のわらび粉糊、桐油、荏胡麻油、亜麻仁油などの問屋もあり、さらに花包用油紙の手画きの絵日傘職人も多く住み、油紙製造の立地条件に恵まれた点です。

第3は県内外の需要先へ発送するのに、自動車輸送の便が良かったなどの利点です。こうして油紙製造業者、即ち合羽屋が他県に比べて集中生産することになったわけで、昭和初期の生産量は全国1、2位を誇っていました。

ところが昭和23、4年のころから塩化ビニ

ール製フィルム等が市場に出回り、手作りの油紙はダウン。とくに防水、防湿面でビニール製品と太刀打ちできず、観念して急拠ビニール屋へ転業したのは油紙製造業斉田倉吉商店で、その店主が私斉田隆一です。

合羽とは股旅小説や映画・テレビに出てくる縞の合羽に三度笠のあの合羽の語源と同じで、江戸時代にスペイン人が外套用として着たのははじまりです。和紙などを外套型にして油を十分浸透させ、雨衣に使用したのを合羽と称するようになり、いつのまにか紙を色と柿渋で揉み、油で浸透させ、天日乾燥した油紙全般を合羽といい、用途別に生花、活花を包装するものを花合羽と呼んだ。また、田植え用に着ゴザを付けたものを田植合羽とかゴザ付合羽、荷物や荷車の雨除け用のものは荷合羽、馬車合羽(馬車桐油)包装用にするのは包み合羽など使用目的によって呼び名を変えていました。

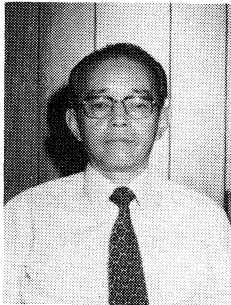
この製造販売業者を合羽屋といい、いまも小原屋合羽店という数代続く老舗があります。小生の家も明治40年から3代続いた合羽屋ですが、昭和23年、塩ビの普及により前途の不安を感じて油紙を塩ビフィルムに代え、田植合羽、花合羽、包み合羽などを生産することを思い立ち、合羽屋を廃業したのです。それいらい高周波ミシン、ウェルダー加工業に踏み切り、また、農業用ビニールなどを手がけて現在にいたりました。

これが合羽屋からビニール屋と呼ばれるようになった経緯ですが、正確には塩ビ製の軟質フィルム・シートを高周波熱利用加工機「ウェルダーミシン」にて加工するもので、すでに30年も営業しているうち、自他共に許すビニール屋になりました。

(斉田工業社長)

発泡製品の量産体制整う

揖斐電樹脂を訪問



10月の工場拝見は揖斐郡池田町にある揖斐電樹脂（広瀬隆之社長、従業員100人、資本金3千万円）を訪問した。工場は大垣から揖斐川右岸をさかのぼり、神戸工業団地からやや

広瀬隆之社長 離れたところ。創業は昭和38年、揖斐川電工が生産開始したメラミン樹脂の自家消費をねらって設立されたもので、主としてメラミン食器を製造、販売した。

現在、主力の包装用発泡スチロールの製造販売を始めたのは39年後半からで、45年には発泡スチロールの製造設備の大型化および合理化工事を行ない、軌道に乗せた。

工場は3万8千平米の広大な用地に9千平米の面積を誇り、工場の内部には大型の発泡スチロール自動成形が22台も並ぶ。このほか46年から始めた異形押出製品をつくる成形機が10台並んでいる。

付加価値高い商品開発に苦心

社長の広瀬さんは揖斐川電工出身の技術者で、電気炉や開発部を担当していた人。それだけに技術面に明るく、発泡スチロールによる包装、押出成形による合成木材など他社に先がけてヒット商品を出した。ところがオイルショック以後は不況による需要の頭打ち、業界乱立による過当競争などと暗い材料が多い。

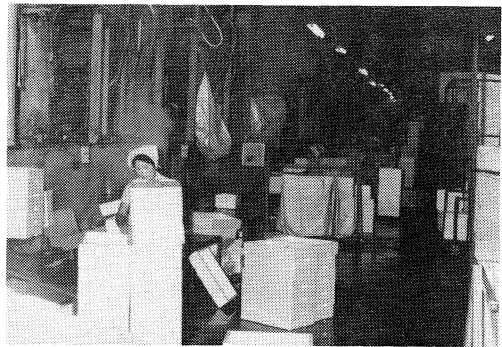
いま、広瀬さんは「打開策として付加価値の

高い商品開発に苦心しているところ…」という。同社の商品構成は発泡スチロールが50%、押出成形品は25%、包装資材関係が25%の割合。発泡スチロールは魚箱、食器包装用、家電包装用など50種も生産している。量産体制と販路が固定しているので安定成長しているものの、商品が高くなるため遠隔地へ運べず、将来的には大きな伸びはないという。

一步一步積み重ねて不況脱出

ことしになって3回も公定歩合が引き下げられ、かつてない低金利時代を迎えたが、広瀬さんは「金利は下がっても中小企業にはあまりメリットはなさそう。こうした減速経済の中で生き抜くには、やはり一步一步、積み重ねて進むより方法はない」といえる。

その積み重ねとは、付加価値の高い商品の開



発や商事部門の強化、さらには自社開発した廃プラ再生熔融炉の増販など。そして「揖斐電グループとしての一翼を守ること」という。（写真は大型化と合理化が進んでいる発泡スチロールの製造設備）



□組合名簿を調製します□

当工業組合はさる5月の本年度総会開催時に組合員名簿を作成し、配付しました。ところがそのご新加入者や代表者、住所、電話番号、設備内容、業種を変更された組合員がおられますので、これを機会に組合員名簿の調製に入りたいと思います。掲載内容を

変更された組合の方は工組事務局へ電話、ハガキなどでご連絡下さい。とくに設備や業種については詳細に記入して下さい。外部からの下請け発注がありますので、その時の資料といたします。もし、会社概況がありましたらお送り下さい。

□成形品の品質評価方法について講習会□

4ページにプラスチック成形品の品質評価法に関する研究成果普及講習会の案内記事を載せましたが、内容は県の工業技術センターと群馬工試の共同研究成果を業界に普及しようとするものです。関係技術者多数のご参加をお願いします。

また、10月21日午前10時から愛知県中小企業センター7階第8会議室で「プラスチック製機械部品の実用特性に関する研究」の研究成

果普及講習会が開かれます。詳細は工組へお問い合わせ下さい。

□車の購入は福祉センターローンで□

岐阜県中小企業福祉センターは有利に簡単に自動車が購入できるように「福祉センターローン」を実施しています。制度の利点は①金利が年5.5%のアドオン方式で格安②車代金のほか税金、登録料、保険料もローンに含めれます③支払い期間が24回と長期である④手続きが簡単で、手数料が組合へ還元される一などで、詳細は工組事務局まで。

岐阜県のプラスチック 1977 10月号

昭和52年10月5日印刷

昭和52年10月6日発行

発行 岐阜市六条1337 (岐阜産業会館内)

電話(0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松 幸栄

編集 岐阜市大黒町3丁目5番地

電話(0582)47-7231

中部パブリシティセンター

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバドゥール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) [〒100]

広報紙「岐阜県のプラスチック」広告掲載協賛のお願い

拝啓 貴社益々で隆盛のこととお慶び申し上げます。また、平素から岐阜県のプラスチック業界につきまして、格別のお引立てを賜わり厚く御礼申し上げます。

当組合も皆様のあたたかいご後援のもと堅実に伸展の道を歩んでおります。そのうえ昨年5月組合設立8周年記念行事の一環として標記広報紙を発行していらい絶大なるご協賛をいただきまして誠に有難うございました。お蔭で今月をもちまして、第2巻10号を刊行するに至りました。つきましては、誠に恐縮に存じますが、昭和52年度下半期分（52年11月から53年4月まで）の広告掲載の継続をお願いいたしたいと存じますが、ご承諾下さいますよう、伏してお願い申し上げます。

記

- | | | |
|--------|---------------------|-----|
| 1 体裁 | 岐阜県プラスチック工業組合広報紙 | B5版 |
| 2 発行日 | 毎月6日発行 | |
| 3 ご契約 | 6カ月契約 毎月1回掲載 | 5万円 |
| 4 スペース | 半ページ（但し、記事下広告は¼ページ） | |

追伸 広報紙の内容は業界ニュース、技術情報、組合員各社の企業ニュース、新製品紹介、組合員各位の情報等ありますが、記事、編集等についてお気付の点がありましたらご教示、ご指導下さい。なお、ニュース、技術情報、新製品紹介等ご寄稿下さいましたら、掲載させていただきます。また広告原稿の変更がありましたら早めにご連絡下さい。

昭和52年10月 岐阜県プラスチック工業組合理事長 大松幸栄

不飽和
ポリエステル
樹脂

ポリマール®

ポリマール®マット

▲ 武田薬品工業株式会社

本社	大阪市東区道修町2-27	TEL 06-204-2460
東京支社	東京都中央区日本橋2-12-10	TEL 03-278-2788
名古屋支店	名古屋市中区錦2丁目2番13号	TEL 052-202-7051

好評 **PLASTAR TM**シリーズ

第二弾

“S”シリーズ開発

S-50, S-100, S-150, S-250

より強く、より速く、より便利に
より少ない電力消費 そしてより安く

BSK 東洋機械金属株式会社

本 社 工 場 明石市二見町福里 TEL 07894②2345

名古屋営業所 名古屋市中村区則武1丁目2番1号
(兼重ビル) TEL 052-452-1066

◎岐阜出張所 岐阜市光町一丁目二番地
TEL 0582 ③ 4 7 2 2
夜間も23時迄 TEL O.K.

合成樹脂原材料及び機械

KOSHI

日清紡績株式会社代理店
三菱モンサント化成株式会社代理店
ダイセル株式会社代理店
松下電工株式会社代理店
三菱レイヨン株式会社代理店
日本合成化工株式会社代理店
三菱瓦斯化学株式会社代理店
東芝ケミカル株式会社代理店
其他著名メーカー特約販売



甲子産業株式会社名古屋支店

名古屋市昭和区白金1丁目4番13号
電話 (052) 882-0631(代表)

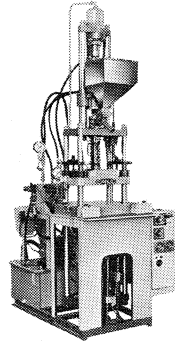
さんじょうの射出成形機!!

精密工業部品、インサート成形に特に適した機械と定評を頂いております。

射出量 5グラム (1/4オンス) より600グラム(20オンス)までの各機種を製作いたしておりますので、用途に合わせてご用命下さい。

— 営業品目 —

- 熱可塑性樹脂及び熱硬化性樹脂、ゴム用射出成形機
- ロストワックス用ワックス成形機、ワックス溶融装置、保温装置
- 液状原料用射出成形機、注入機、混合脱泡機
- セラミック用射出成形機
- 当社射出成形機用金型
- その他関連装置



●カタログご希望の方は紙名ご記入の上お申込み下さい。
—成形機・金型・関連装置を社内一貫生産している専門メーカー—

株式会社 山城精機製作所

本社	東京都板橋区弥生町 32番地	TEL(03) 972-0561(代)
業務部・工場	埼玉県川口市中青木2丁目18-21	TEL(0482) 51-6156(代)
名古屋営業所	名古屋市北区桶町味鏡政所 28番地	TEL(052) 901-5861番
大阪営業所	TEL(06) 443-3771(代) 八王子出張所	TEL(0426) 51-7144番
九州営業所	TEL(092) 571-2740番 小倉出張所	TEL(093) 471-1079番
前橋営業所	TEL(0272) 52-0733番 城南出張所	TEL(03) 776-2254番
広島出張所	TEL(0822) 32-2786番 沼津出張所	TEL(0559) 22-9610番

日精はお応えします。

コストダウン・品質の向上・省資源の成形に...

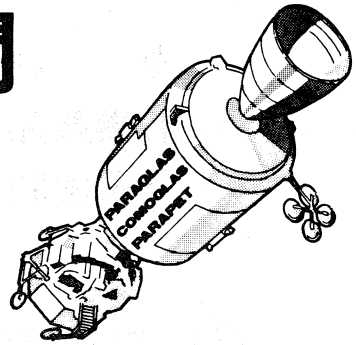
コストダウン・品質の向上・省資源がますます要求される今日。より高度な技術力、柔軟な開発姿勢で対処していかなければなりません。日精は豊かな技術力と実績とによって、モルダーのあらゆるご要望にお応えしています。付加価値の高い成形は、日精の成形機こそが、お役に立つことをお約束します。

NISSEI
日精

1歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場 長野県坂城町 ☎(02688)2-3000(大代)〒389-06 名古屋営業所 ☎(052)732-0261(代)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(西ビル) ☎(0582)72-5952

限りなき創造空間 への挑戦



メタクリル樹脂・注型板

パラオラス[®]

メタクリル樹脂・押出板

コモオラス

メタクリル樹脂・成型材料

パラペット[®]

国産無公害資源“天然ガス”の総合開発分野を
リードする協和ガス化学。その『メタクリル樹脂
製品』は生産量で世界の五指に数えられ、
モノマーから、ポリマーまで一貫生産され、
圧倒的信頼とシェアを誇っています。



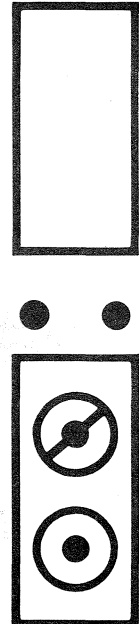
協和ガス化学工業株式会社

本社/〒103 東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル ☎(03)271-3001
大阪事務所/名古屋営業所/福岡営業所/仙台営業所

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100



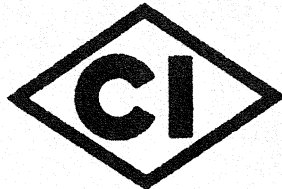
日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL.(03)541-4111・名古屋支店/TEL.(052)571-1231

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

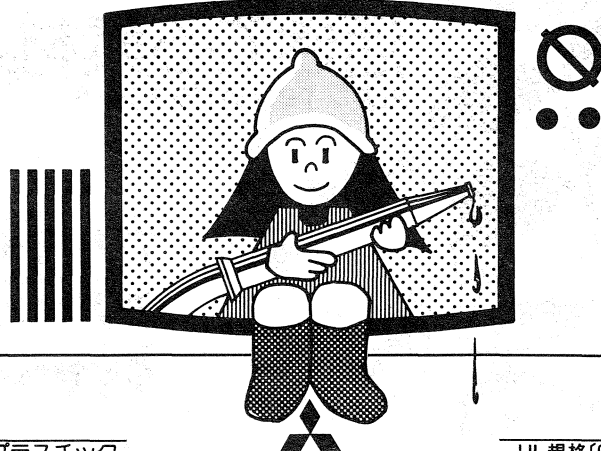


伊藤忠商事株式会社

名古屋支社 化学物産部合成樹脂課

名古屋市中村区笹島町1丁目223番地 (名鉄バスターミナルビル)
電話 名古屋 (052) 583-(2481~2486)

自己消火性のタフレックス®VBは UL規格認定の難燃性樹脂です。



燃えにくい、安全なプラスチック。

タフレックス®VBは、すぐれた自己消火性とバランスのとれた物性を兼ねそなえた難燃性樹脂です。

三菱モンサント化成株式会社

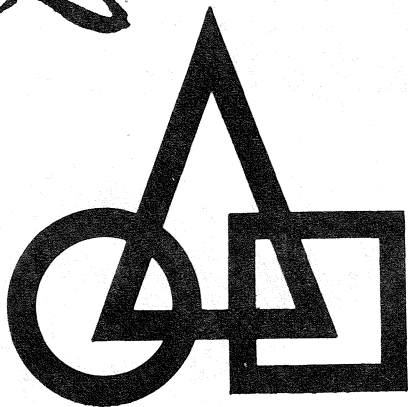
本社・東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100 三菱ビル 東京 03(283)4495
名古屋支店・愛知県名古屋市中村区広井町3-88
(大名古屋ビル) 〒450 ☎(052)561-9711(代表)

UL規格(94V-0(t=1/16'))認定

タフレックス®VB

File No. E-49095

出光の石油化学製品



◎取扱品目

- ポリスチレン
- 高圧ポリエチレン
- 中低圧ポリエチレン
- ポリプロピレン
- ABS樹脂
- 不飽和ポリエステル
- カルブ®
- ポリカーボネート

出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
東京営業所 東京都中央区日本橋1-7-17(日本橋東海ビル) 〒103 ☎ 03-272-8331
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名典ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611
大阪営業所 大阪市北区小松原町27(富国生命ビル) 〒530 ☎ 06-312-8841
福岡営業所 福岡市中央区大名2-8-26 〒810 ☎ 092-721-6617



生きてる素材。 三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂/板状品

アクリライト®

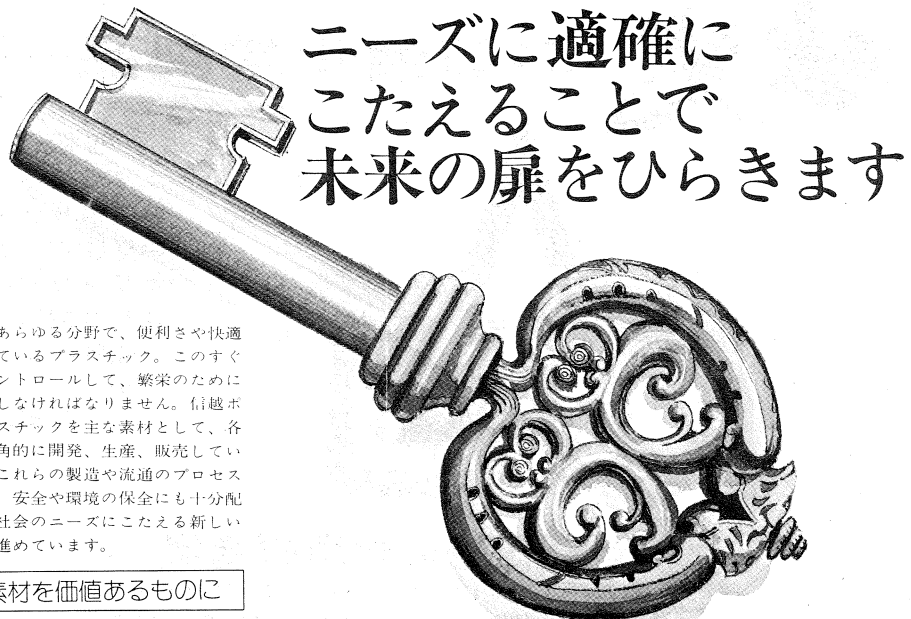
メタクリル樹脂/射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® **ABS**

三菱レイヨン
東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



ニーズに適確に こたえることで 未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。


新しい素材を価値あるものに

信越ポリマー

名古屋市中村区広小路西通3-4(新名ビル東館) ☎052(581)4231

皆様に技術と信頼で奉仕する

プラスチック機械の総合メーカー

 (株)日本製鋼所

日鋼射出成形機を始め
あらゆるプラスチック
加工機械について御相
談下さい。

(株)日本製鋼所 名古屋営業所

名古屋市東区布池町32 TEL (935)9471・(935)9481(日鋼サービス)

<総代理店>

三井物産(株)名古屋支店(機械部) 名古屋市中村区笹島町豊田ビル TEL 584-2340

<代理店>

大和プラスチック機械(株)名古屋営業所 名古屋市中村区則武町2-7(ノリタケビル) TEL 452-4021

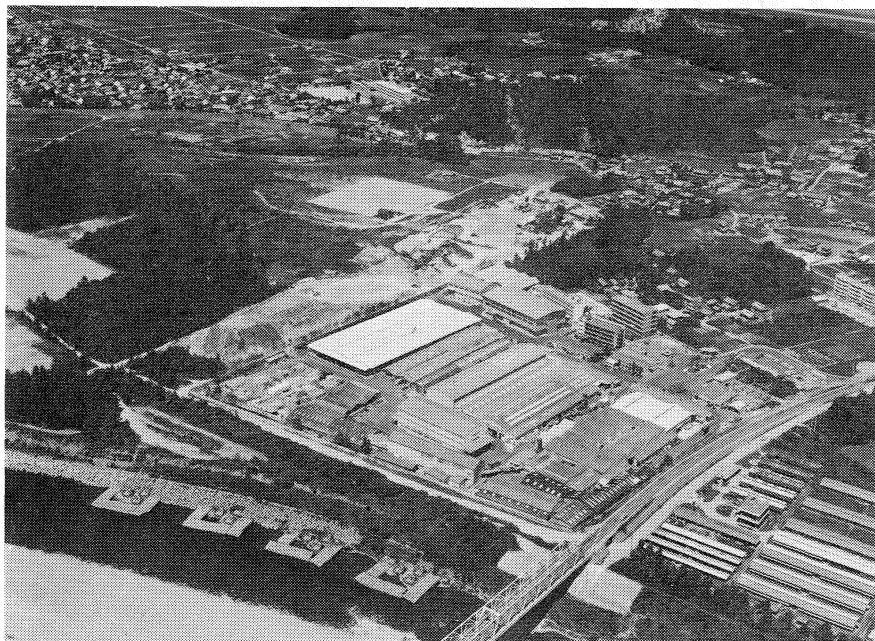
柏木実業株式会社名古屋営業所 名古屋市東区高岳町1-11(司ビル) TEL 931-6044

日鋼商事(株)名古屋営業所 名古屋市東区布池町3-2 TEL 935-9361

すぐれた品質と広範囲なシェアをもつ!!



リスのプラスチック



非常に多くの適用範囲でしかも経済的に使用できる商品は他にはない。リスマークは岐阜プラスチック工業(株)が成形しているプラスチック製品につけられたブランドネームです。全国における販売シェアは常にトップクラスにランクされています。家庭用品から大形コンテナまで、そのすぐれた品質・機能・デザインは全国の市場で高く評価されています。

岐阜プラスチック工業株式会社

本 社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支 店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮